



特別展「太古の哺乳類展－日本の化石でたどる進化と絶滅－」プレス内覧会（7/11） 及び「ナウマンゾウ『家族』全身骨格組立取材」（7/3）のご案内

国立科学博物館（館長 林 良博）では、平成26年7月12日（土）から10月5日（日）まで、特別展「太古の哺乳類展－日本の化石でたどる進化と絶滅－」を開催します。

つきましては、7月11日（金）にプレス内覧会を実施いたします。また、プレス内覧会に先立ちまして、7月3日（木）には本特別展の見どころである「ナウマンゾウ『家族』全身骨格組立取材」を実施いたします。

是非、この機会にご臨席頂き、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、別添資料をご覧ください。

◆特別展「太古の哺乳類展」プレス内覧会

【日時】平成26年7月11日（金）13：00～14：30（受付開始12：30～）

【会場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

◆特別展「太古の哺乳類展」ナウマンゾウ「家族」全身骨格組立取材

【日時】平成26年7月3日（木）13：00～14：00（受付開始12：30～）

【会場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

※特別展「太古の哺乳類展－日本の化石でたどる進化と絶滅－」

【会期】平成26年7月12日（土）～10月5日（日）

【会場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）

【主催】国立科学博物館、読売新聞社、日本テレビ、BS日テレ

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館

事業推進部 企画展示課長 吉野 英男

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL:03-3822-0111/FAX:03-5814-9899

<取材に関するお問い合わせ先>

「太古の哺乳類展」広報事務局

担当：池袋・高橋

TEL:03-3409-4266/FAX:03-3499-0958

「古代の動物園」が上野に出現！

編集者・評論家の山田五郎氏が本展オフィシャルサポーターに就任!!

太古の哺乳類展

—日本の化石でたどる進化と絶滅—

プレス内覧会のご案内

2014年7月11日(金) 13:00~14:30(受付開始12:30)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、国立科学博物館、読売新聞社、日本テレビ、BS日テレは、7月12日(土)から10月5日(日)までの間、東京・上野公園の国立科学博物館にて「太古の哺乳類展—日本の化石でたどる進化と絶滅—」を開催します。

本展は、約1億2000万年前から1万年前まで、日本に生息し、今では絶滅して見ることのできない数々の哺乳類を多角的に紹介する展覧会です。

会場では、おとな(オス・メス)とこどもの全身復元骨格3体を“家族”と見立てた「ナウマンゾウ」や、日本で発掘され世界的に有名となった「パレオパラドキシア」の化石標本など、貴重な標本約170点が展示されます。これだけの規模・内容で、日本の太古の哺乳類を紹介した特別展は世界でも初めてになります。

つきましては、一般公開に先立ち、7月11日(金)にプレス内覧会を開催いたします。

プレス内覧会では、本展オフィシャルサポーターに就任した、編集者・評論家の[山田五郎さんにもご登場いただき、就任セレモニーを併せて行います。](#)(詳細は次ページをご確認ください)

ご多忙と存じますが、是非、プレス内覧会と就任セレモニーをご取材くださいますよう、ご案内申し上げます。

敬具



ナウマンゾウ(オス) 復元骨格

神奈川県立生命の星・地球博物館蔵



ナウマンゾウ(家族) 復元イラスト



山田五郎

(編集者・評論家)

■プレス内覧会概要

日時	:7月11日(金)13:00~14:30(受付開始 12:30~)
	(受付場所/国立科学博物館常設展入口 総合案内付近)
スケジュール:12:30	受付開始
13:00	報道内覧会開始
	概要説明/解説:富田 幸光・国立科学博物館地学研究部長
13:30~13:45	山田 五郎氏 オフィシャルサポーター就任式、展示紹介
	※セレモニー終了後、囲み取材予定
14:30	終了

※展示会場にて、解説者への質疑応答が可能です。
※当日は15時より開会式を行いますので、併せてご取材ください。
(開会式会場/国立科学博物館・講堂 日本館2階)
※開会式終了後、特別展は引き続き17時までご観覧いただけます。



パレオパラドキシア 復元骨格
埼玉県立自然の博物館蔵

当日は謎多き“海獣”
パレオパラドキシアの着ぐるみ
「ばれおくん」も登場！



■本展オフィシャルサポーターに、 編集者・評論家の山田五郎さんが就任！！



編集者・評論家の山田五郎さんに、本展オフィシャルサポーターを務めていただくことを決定しました。

当日は、おとな(オス・メス)とこどもの3体が勢ぞろいするナウマンゾウ親子の全身骨格の前で就任セレモニーを行うほか、山田五郎さんが、本展の目玉展示であるナウマンゾウ親子やパレオパラドキシアなどの骨格標本と触れ合う模様を取材頂けます。

1958年 東京都生まれ

上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルク大学に1年間遊学し西洋美術史を学ぶ。卒業後、(株)講談社に入社『Hot-Dog PRESS』編集長、総合編集部担当部長等を経てフリーに。現在は時計、ファッション、西洋美術、街づくり、など幅広い分野で講演、執筆活動を行っている。

「太古の哺乳類展」広報事務局 行 FAX 03-3499-0958

⇒6月30日(月)までにご返信ください。※個別取材をご希望の際は事前にご相談願います。

太古の哺乳類展

—日本の化石でたどる進化と絶滅—

プレス内覧会のご案内

2014年7月11日(金) 13:00~14:30(受付開始12:30)

□ プレス内覧会に出席する

※展示風景の撮影を希望する □ スチール □ ENG 他

貴社名:

媒体名:

ご芳名:

(他 名様)

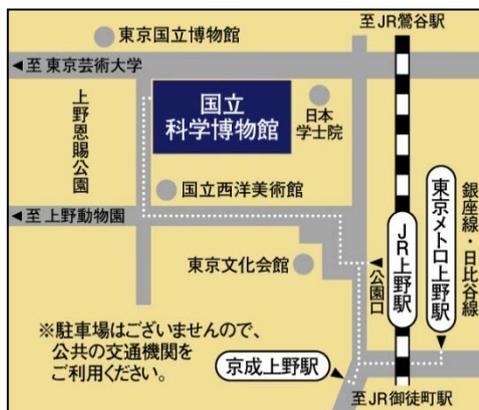
ご住所

ご連絡先: 電話:

FAX:

E-mail:

当 FAX 返信用紙にご記入頂いた個人情報は、本件の報道対応以外に使用致しません。



会場: 国立科学博物館

受付場所: 国立科学博物館常設展入口 総合案内付近
(〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20)

最寄駅

- JR「上野」駅公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分
- 京成線「京成上野」駅から徒歩10分

※車でのご来館はご遠慮ください。

報道関係の方からの本件に関するお問合せ先

「太古の哺乳類展」広報事務局(ユース・プランニング センター内)担当/池袋・高橋

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3階

TEL: 03-3409-4266 FAX: 03-3499-0958 E-mail: honyu-rui2014@ypcpr.com

当日の連絡先: 090-7900-8832(池袋携帯)

ナウマンゾウ“家族”の全身復元骨格組立 日本初公開！

太古の哺乳類展

—日本の化石でたどる進化と絶滅—

ナウマンゾウ「家族」全身骨格組立取材のご案内

2014年7月3日(木) 13:00~14:00(受付開始12:30)

約1億2000万年前から1万年前まで、日本に生息し、今では絶滅して見ることのできない数々の哺乳類を多角的に紹介する、日本初の展覧会「太古の哺乳類展—日本の化石でたどる進化と絶滅—」が、7月12日(土)から始まります。

この度、開幕を前に、本展目玉展示の一つである、「ナウマンゾウ」3体(オス・メス・こども)の全身復元骨格の組み立て作業の一部を7月3日(木)13:00から公開します。

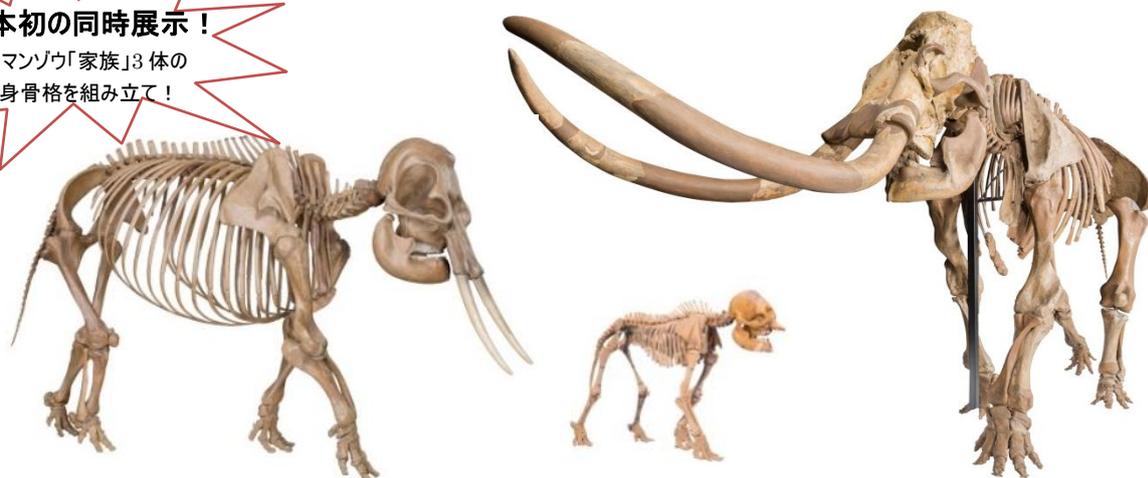
当日は、おとな(オス・メス)の頭骨などの組立を行い、完成後には、こどもを含めた“家族”3体の撮影も予定しています(所要時間 45分程度)。圧倒的な迫力のナウマンゾウ“家族”の展示は、日本初となります。

つきましては、下記の通りご案内申し上げます。

※誠にお手数ながら、ご取材頂ける場合は別紙申請書に必要事項を記入の上、FAXにてご連絡ください。

日本初の同時展示！

ナウマンゾウ「家族」3体の
全身骨格を組み立て！



(左より)ナウマンゾウ(メス) 復元骨格 八王子市教育委員会蔵、ナウマンゾウ(こども) 復元骨格、ナウマンゾウ(オス) 復元骨格 神奈川県立生命の星・地球博物館蔵

「太古の哺乳類展—日本の化石でたどる進化と絶滅—」 組立スケジュール

日時 : 7月3日(木) 13:00~14:00(12:30受付開始/国立科学博物館入口上野本館通用口)

会場 : 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展会場(台東区上野公園 7-20)

12:30~ 受付開始

13:00~ 組み立て開始・解説

14:00 終了予定

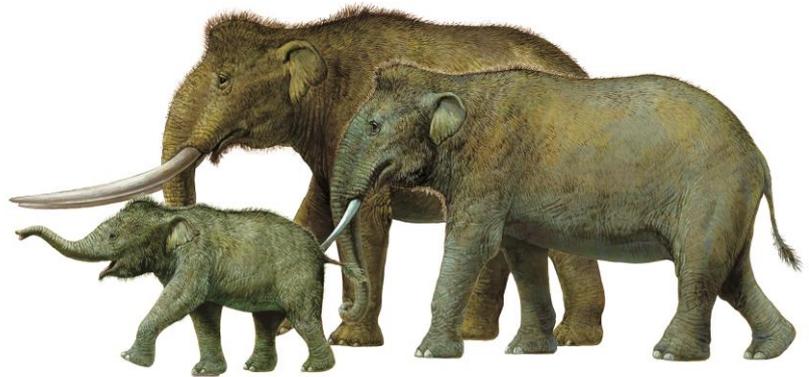
※解説/富田 幸光(国立科学博物館地学研究部長) ※解説者への質疑応答が可能です。

※スケジュールや内容は、当日の作業状況により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■日本を代表する太古のゾウ！ 「ナウマンゾウ」のおとな(オス・メス)とこどもの概要

太古の昔には日本にも色々なゾウ類が住んでいましたが、その中でもナウマンゾウは、北海道から九州まで日本各地から化石が見つかっており、日本を代表する化石ゾウといえます。

一番古い化石の年代や氷期と間氷期の年代の研究などから、現在では 34 万年前の氷期で海面が下がった時に、東シナ海または対馬海峡付近をとって日本にやって来たと考えられています。そして、約 2 万年前の最後の氷期のピーク頃に絶滅したことがわかってきました。



ナウマンゾウ(家族) 復元イラスト

ナウマンゾウ

学名: *Palaeoloxodon naumanni*

時代: 第四紀更新世中期～後期

分類: 長鼻目 ゾウ科



ナウマンゾウ(オス)

神奈川県藤沢市で発見された体の骨格、千葉県下総町で発見された頭骨、東京都渋谷区で発見された牙と下顎の骨を組み合わせて復元しました。肩の高さは 2.5m。全身骨格は北海道忠類村で発見された例がありますが、今回は上記 3 頭分の化石で復元されました。



ナウマンゾウ(メス)

東京都中央区で発見された、大きさと年齢がほぼ同じの2体分の骨格を補完しあって復元しました。肩の高さは 1.9m で、これまでに復元された大人のナウマンゾウでは最も小さな骨格ですが、これがメスの平均的な大きさかどうかはまだわかりません。



ナウマンゾウ(子ども)

北九州市で発見された子どもの頭骨化石は、おそらく日本で唯一の子どもの頭骨で、生えている歯の種類から約 1 歳半と推定されています。体の骨格部分は、推定 3 歳のアフリカゾウの子どもの骨格を元に推定して復元。子どもの成長は体の部位によって異なり、1 歳半の子どもの 3 歳の子どもに比べて、あごや口の付近がとて小さいのが特徴です。

(上から) ナウマンゾウ(オス) 復元骨格 神奈川県立生命の星・地球博物館蔵、ナウマンゾウ(メス) 復元骨格 八王子市教育委員会蔵、ナウマンゾウ(子ども) 復元骨格

■基本情報

名称:	太古の哺乳類展—日本の化石でたどる進化と絶滅—
会期:	2014年7月12日(土)～10月5日(日)
会場:	国立科学博物館(東京・上野公園)
開館時間:	午前9時～午後5時(金曜日は午後8時まで) ◆夏休み特別開館延長【8月9日(土)～17日(日)】 午前9時～午後6時(8月15日(金)は午後8時まで) (入館は各閉館時刻の30分前まで)
休館日:	7月14日(月)、9月1日(月)・8日(月)・16日(火)・29日(月)
主催:	国立科学博物館、読売新聞社、日本テレビ、BS日テレ
入場料:	◆一般・大学生:1,600円(1,400円)/小・中・高校生:600円(500円) *()内は前売りおよび各20名様以上の団体料金
お問合せ:	03-5777-8600(ハローダイヤル)
公式サイト:	http://www.honyu-rui.com/

「太古の哺乳類展」広報事務局 行 FAX 03-3499-0958

⇒6月30日(月)までにご返信ください。※個別取材をご希望の際は事前にご相談願います。

□ 組立取材に出席する<7月3日(木)13:00~13:45頃>

□ スチール □ ENG 他

「太古の哺乳類展－日本の化石でたどる進化と絶滅－」組立スケジュール

日時 : 7月3日(木)13:00~14:00(12:30受付開始/国立科学博物館入口上野本館通用口)

会場 : 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展会場(台東区上野公園 7-20)

12:30~ 受付開始

13:00~13:45頃 組立開始・解説

14:00 終了予定

※解説者への質疑応答が可能です。

※解説/富田 幸光(国立科学博物館地学研究部長)



【当日の注意事項】

※スケジュールは当日の作業状況により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会場:国立科学博物館

受付場所:国立科学博物館入口 総合案内付近
(〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20)

最寄駅

- JR「上野」駅公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分
- 京成線「京成上野」駅から徒歩10分

※車でのご来館はご遠慮ください。

貴社名:

媒体名:

ご芳名:

(他 名様)

ご住所

ご連絡先: 電話:

FAX:

E-mail:

当 FAX 返信用紙にご記入頂いた個人情報は、本件の報道対応以外に使用致しません。

報道関係からの本件に関するお問い合わせ先

「太古の哺乳類展」広報事務局(ユース・プランニング センター内)担当/池袋・高橋

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル3階

TEL:03-3409-4266 FAX:03-3499-0958 E-mail:honyu-rui2014@ypcpr.com

当日の連絡先:090-7900-8832(池袋携帯)

